

中小企業景気動向調査（県西地区版）

令和5年10～12月期実績と令和6年1月～3月期見通し
 <<特別調査>>2024年（令和6年）の経営見通し

前期（令和5年 7月～令和5年 9月期 実績）
 今期（令和5年 10月～令和5年 12月期 実績）
 来期（令和6年 1月～令和6年 3月期 予想）

調査方法

- 調査日 令和5年12月上旬
- 調査地域 小田原市、南足柄市、秦野市、足柄上郡、足柄下郡、中郡
- 全調査先数 当庫取引先316社
- 調査対象 当庫取引先305社
 （製造業27.5%、卸売業11.1%、小売業16.1%、サービス業19.0%、建設業18.4%、不動産業7.9%）
- 有効回答率 96.5%
- 分析方法 各質問項目で、「増加（上昇）」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少（下降）」したとする企業の構成比との差（DI・判断指数）を中心にして分析を行いました。

業種別業況天気図（県西地区）

	令和4年 10月～12月	令和5年 1月～3月	令和5年 4月～6月	前期 令和5年 7月～9月	今期 令和5年 10月～12月	来期見通し 令和6年 1月～3月
総合					↑	↓
製造業					↑	↓
卸売業					↓	↓
小売業					↑	↓
サービス業					↑	↓
建設業					↓	↑
不動産業					↑	→



景況

業況DI、売上DIは大幅に改善、収益DIは改善

業況DI



前期比13.8ポイント改善の3.9となり、前回調査時の今期予想DIである0.0を上回り、前年同期DIの▲2.6も上回りました。
業種別では製造業、小売業、サービス業、不動産業は改善、卸売業、建設業は悪化となりました。
また、来期については、10.5ポイント悪化の▲6.6となる見通しです。

売上DI



前期比12.2ポイント改善の13.8となり、前回調査時の今期予想DIである11.1を上回りましたが、前年同期DIの16.7を下回りました。
業種別では製造業、小売業、不動産業は改善、卸売業、サービス業、建設業は悪化となりました。
また、来期については、21.1ポイント悪化の▲7.3となる見通しです。

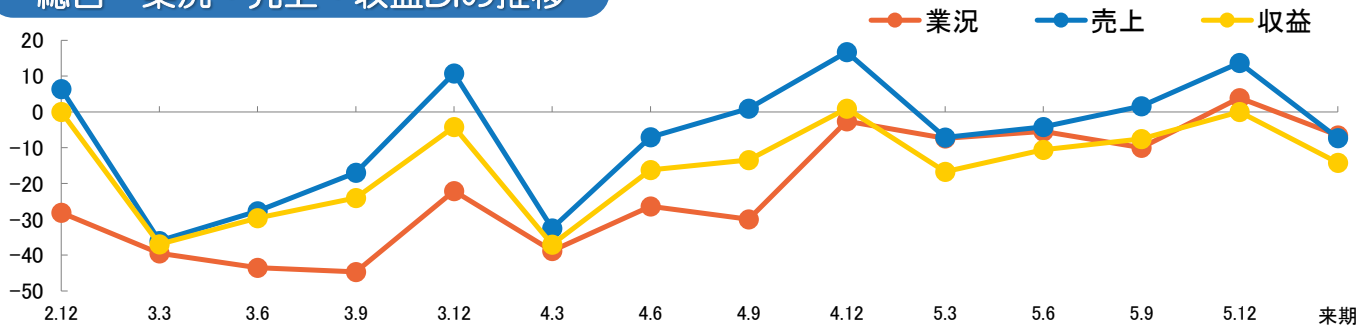
収益DI



前期比7.5ポイント改善の0.0となり、前回調査時の今期予想DIである4.6を下回り、前年同期DIの1.0も下回りました。
業種別では製造業、小売業、サービス業、不動産業は改善、卸売業、建設業は悪化となりました。
また、来期については、14.1ポイント悪化の▲14.1となる見通しです。



総合 業況・売上・収益DIの推移



地区別のDI

DI推移

業況DIはすべての地区で改善となりました。
また、売上DIは「小田原中央」、「小田原川東・中郡」、「足柄下郡」は改善、「足柄上郡・秦野」は悪化となり、収益DIは「小田原中央」、「小田原川東・中郡」は改善、「足柄上郡・秦野」は横這い、「足柄下郡」は悪化となりました。
なお、来期の業況DIについては、「足柄上郡・秦野」は改善、「小田原中央」、「小田原川東・中郡」、「足柄下郡」は悪化となる見通しです。

営業店のコメント

小田原中央地区

- 人手不足や労務費増加の課題を抱えている事業者が多い。
- 人件費高騰に対応するため、DX化を検討する事業者も多い。

小田原川東・中郡地区

- 業界を問わず仕入価格・販売価格ともに上昇傾向にある。
- 多くの業種の課題として人材確保があげられる。

足柄上郡・秦野地区

- コロナの5類移行、原材料高騰、人手不足等で経済環境が変化している影響を受けている様子がうかがえる。

足柄下郡地区

- 外国からの旅行者は、増加傾向にある。調査期間は紅葉シーズンであり、観光関連事業者の景況感は良化している。

業況DI・地区別推移

地区	前期	今期 (前期比)	来期 (今期比)
小田原中央	▲ 2.5	6.5 9.0	▲ 1.6 ▲ 8.1
小田原川東・中郡	▲ 22.4	8.0 30.4	0.0 ▲ 8.0
足柄上郡・秦野	▲ 19.0	▲ 8.2 10.8	▲ 7.1 1.2
足柄下郡	0.0	14.9 14.9	▲ 25.5 ▲ 40.4

売上DI・地区別推移

地区	前期	今期 (前期比)	来期 (今期比)
小田原中央	2.4	17.1 14.6	▲ 1.6 ▲ 18.7
小田原川東・中郡	▲ 20.0	12.0 32.0	▲ 18.0 ▲ 30.0
足柄上郡・秦野	7.1	5.9 ▲ 1.2	▲ 3.6 ▲ 9.5
足柄下郡	12.8	21.3 8.5	▲ 17.4 ▲ 38.7

収益DI・地区別推移

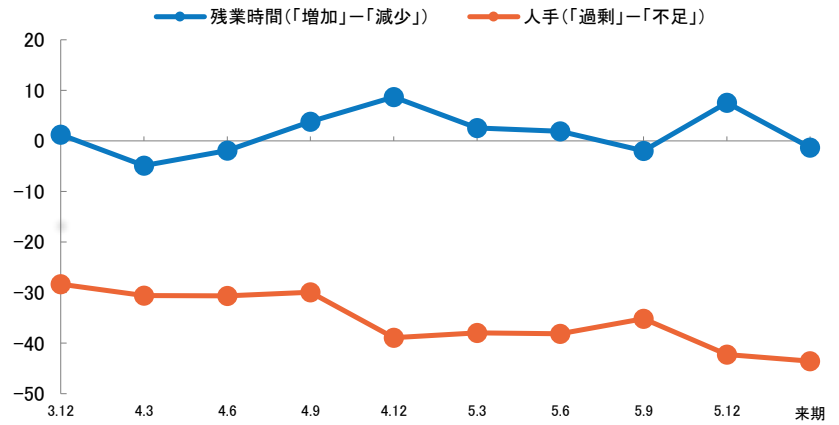
地区	前期	今期 (前期比)	来期 (今期比)
小田原中央	▲ 5.7	4.1 9.8	▲ 12.2 ▲ 16.3
小田原川東・中郡	▲ 26.0	0.0 26.0	▲ 14.0 ▲ 14.0
足柄上郡・秦野	▲ 9.4	▲ 9.4 0.0	▲ 12.9 ▲ 3.5
足柄下郡	10.6	6.4 ▲ 4.3	▲ 21.7 ▲ 28.1

雇用

残業時間DIは前期比9.6ポイント上昇の7.6となり、人手DIは前期比7.0ポイント低下の▲42.2となりました。残業時間は増加し、人手不足感は強まりました。

なお、来期については残業時間DIは8.9ポイント低下の▲1.3となり、人手DIは1.4ポイント低下の▲43.6となる見通しであり、残業時間は減少し、人手不足感は強まる見通しです。

雇用関連指数

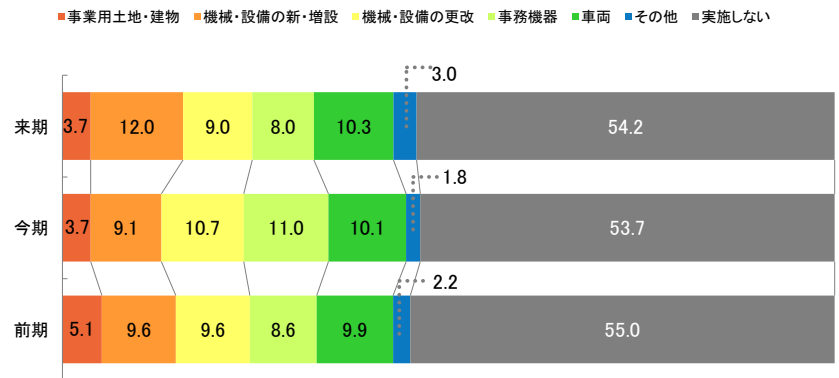


設備投資

今期の設備投資の実施状況については、「機械・設備の更改」・「事務機器」・「車両」は増加した一方で「事業用土地・建物」・「機械・設備の新・増設」・「その他」は減少となりました。なお、「実施しない」は減少し、設備投資意欲は向上しました。

来期の設備投資の実施予定については、「機械・設備の新・増設」・「車両」・「その他」は増加となる一方で、「機械・設備の更改」・「事務機器」は減少し、「事業用土地・建物」は横這いとなる見通しです。なお、「実施しない」は増加し、設備投資意欲は低下する見通しです。

設備投資の実施状況(複数回答、単位:%)

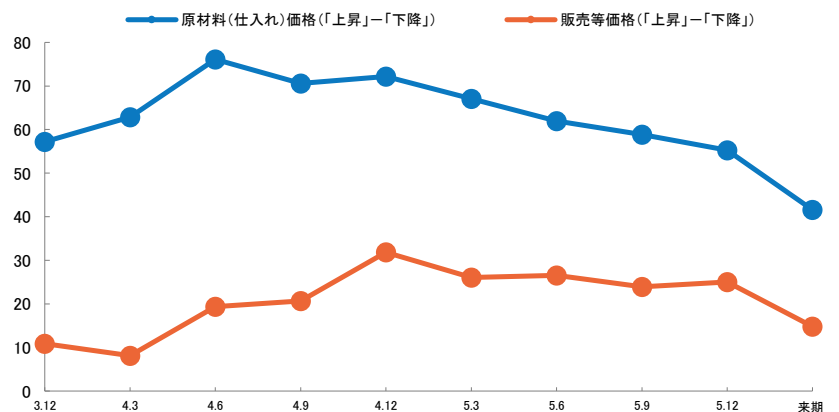


販売・仕入価格

販売等価格DIは前期比1.1ポイント上昇の25.0となり、原材料(仕入れ)価格DIは前期比3.6ポイント低下の55.3となりました。

なお、来期については、販売等価格DIは10.2ポイント低下の14.8となり、原材料(仕入れ)価格DIは13.7ポイント低下の41.6となる見通しです。

価格関連指標

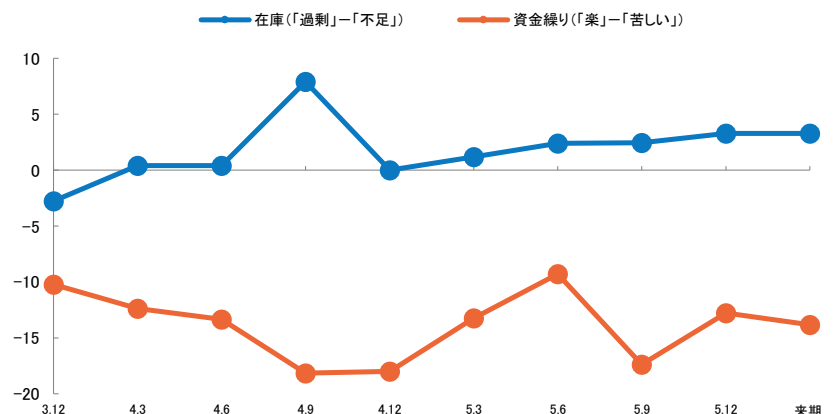


在庫・資金繰り

在庫DIは前期比0.9ポイント上昇の3.3となり、資金繰りDIは前期比4.6ポイント上昇の▲12.8となりました。

なお、来期については、在庫DIは横這いの3.3となり、資金繰りDIは1.0ポイント低下の▲13.8となる見通しです。

在庫・資金繰り指標

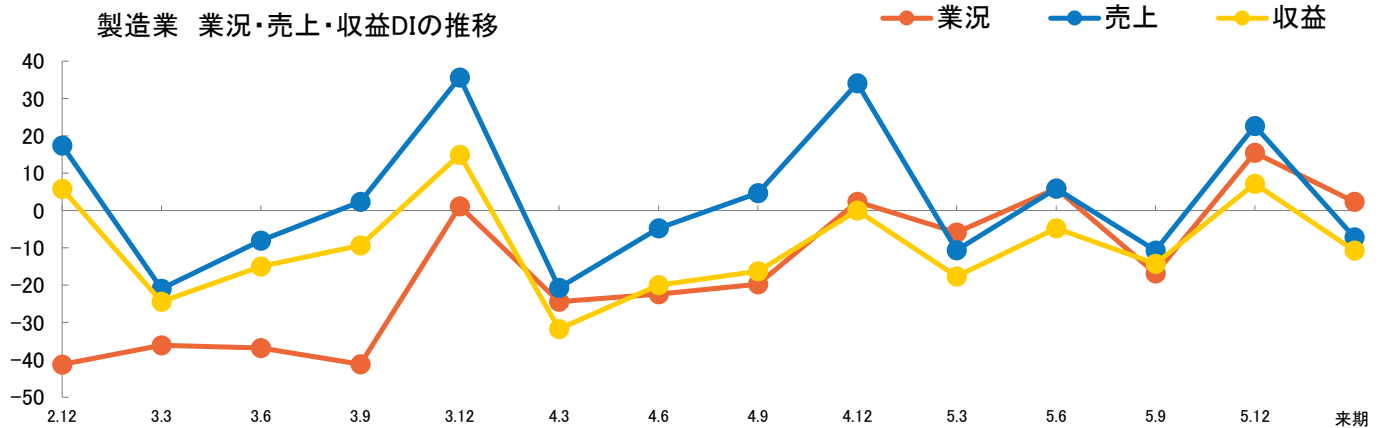


製造業

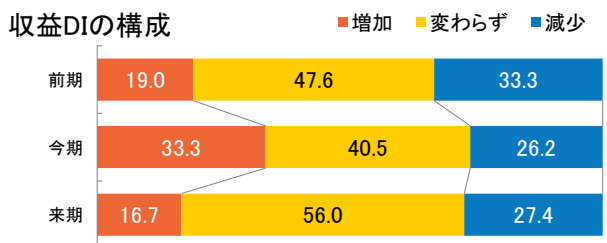
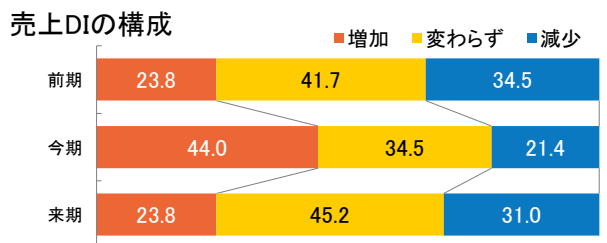
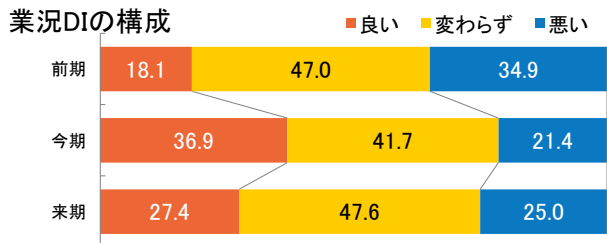
景況

業況DI・売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に改善

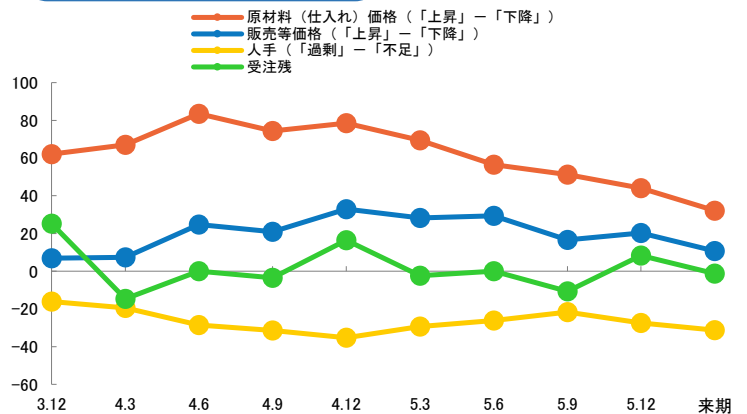
業況DIは、前期比32.4ポイント改善の15.5となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである3.6を上回り、前年同期DIの2.4も上回りました。来期については13.1ポイント悪化の2.4となる見通しです。



業況・売上・収益DI

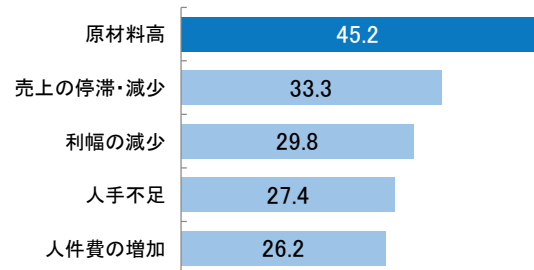


その他の指標推移



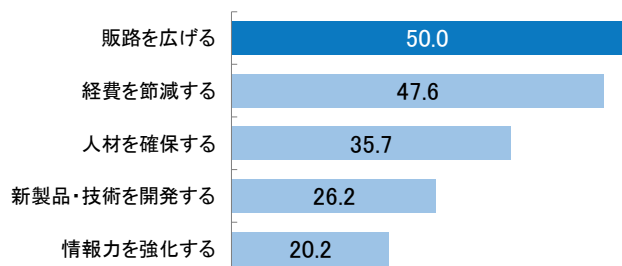
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



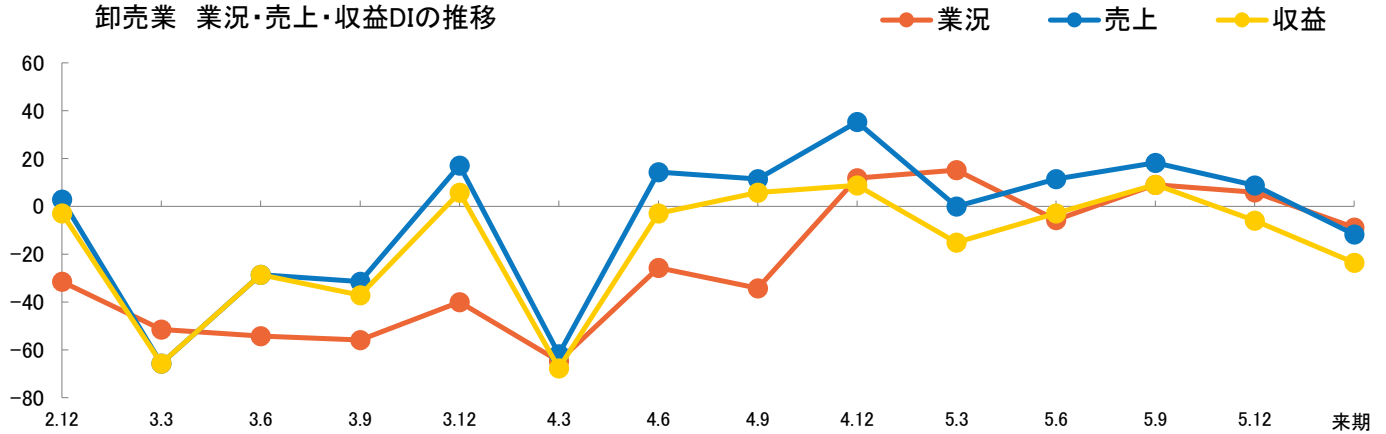
卸 売 業

景 況

業況DI・売上DIは悪化、収益DIは大幅に悪化

業況DIは、前期比3.2ポイント悪化の5.9となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである12.1を下回り、前年同期DIの11.8も下回りました。来期については、14.7ポイント悪化の▲8.8となる見通しです。

卸売業 業況・売上・収益DIの推移

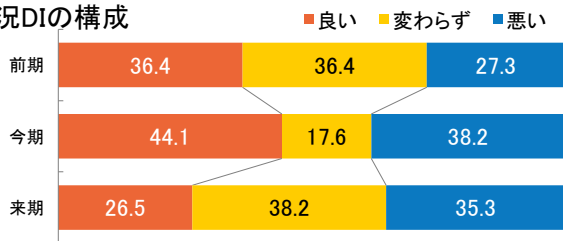


業況・売上・収益DI

業況DI



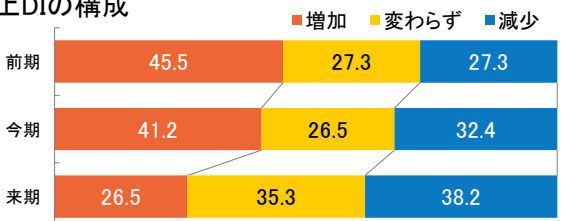
業況DIの構成



売上DI



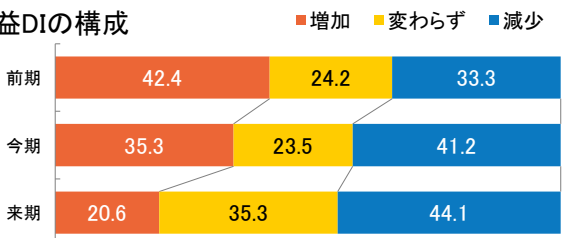
売上DIの構成



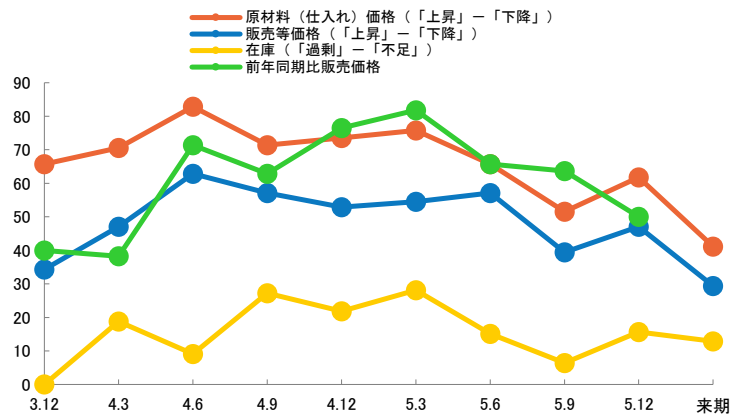
収益DI



収益DIの構成

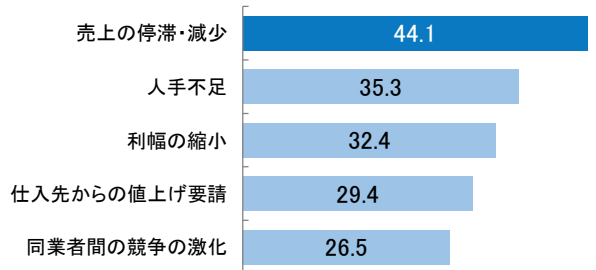


その他の指標推移



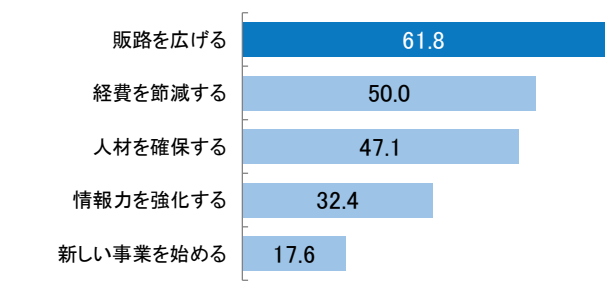
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



好調←



→低調

改善

横這い

悪化



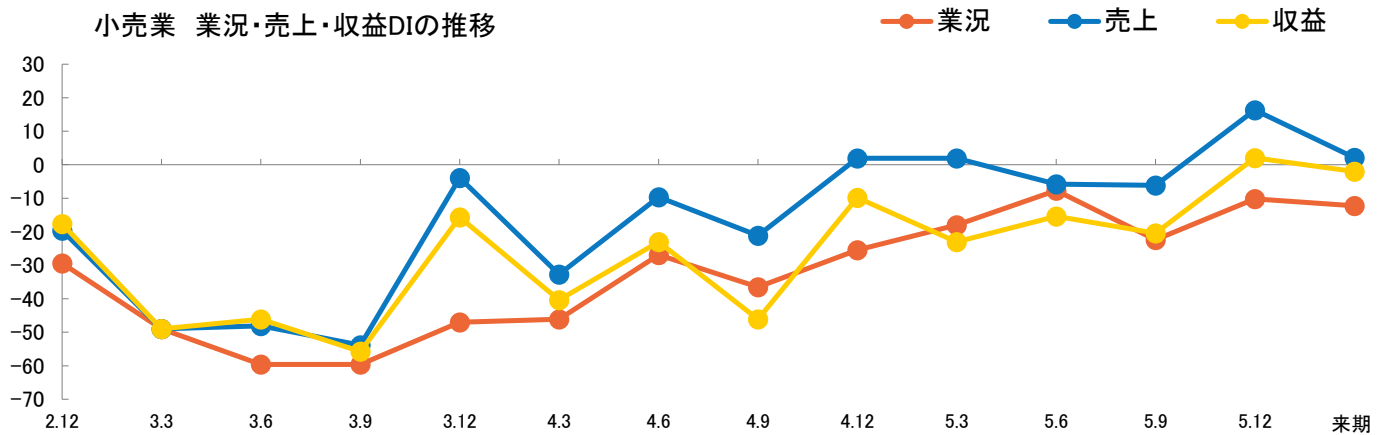
小 売 業

景 況

業況DI・売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に改善

業況DIは、前期比12.2ポイント改善の▲10.2となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲16.3を上回り、前年同期DIの▲25.5も上回りました。来期については、2.0ポイント悪化の▲12.2となる見通しです。

小売業 業況・売上・収益DIの推移

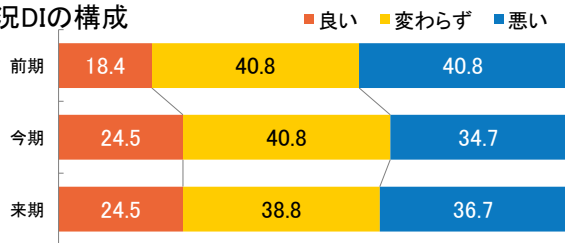


業況・売上・収益DI

業況DI



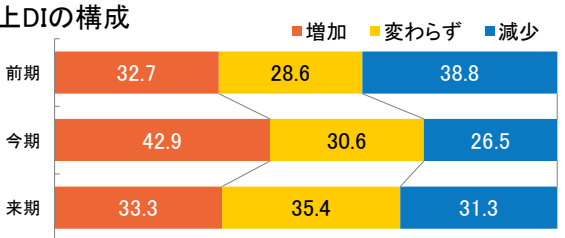
業況DIの構成



売上DI



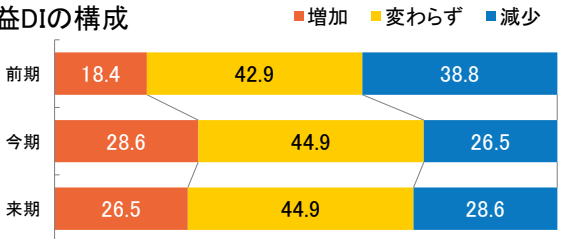
売上DIの構成



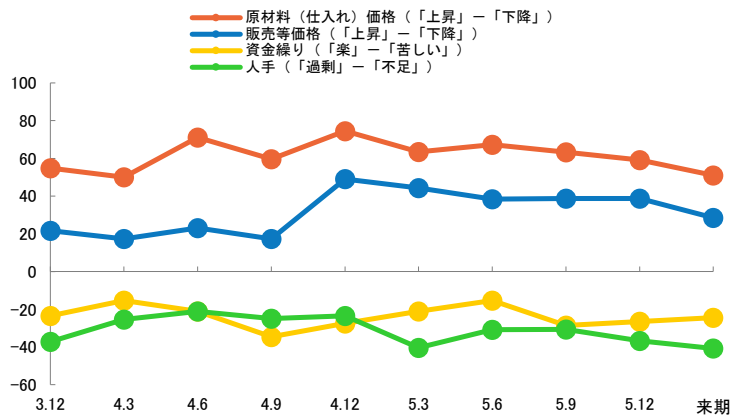
収益DI



収益DIの構成

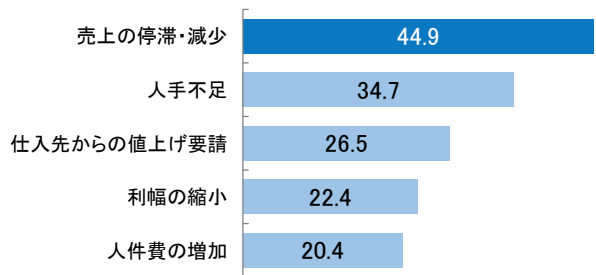


その他の指標推移



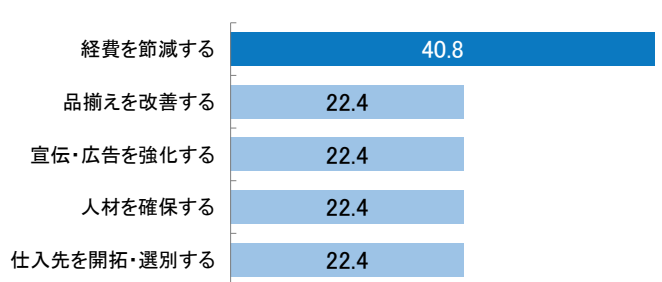
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



好調←



→低調

改善



横這い



悪化



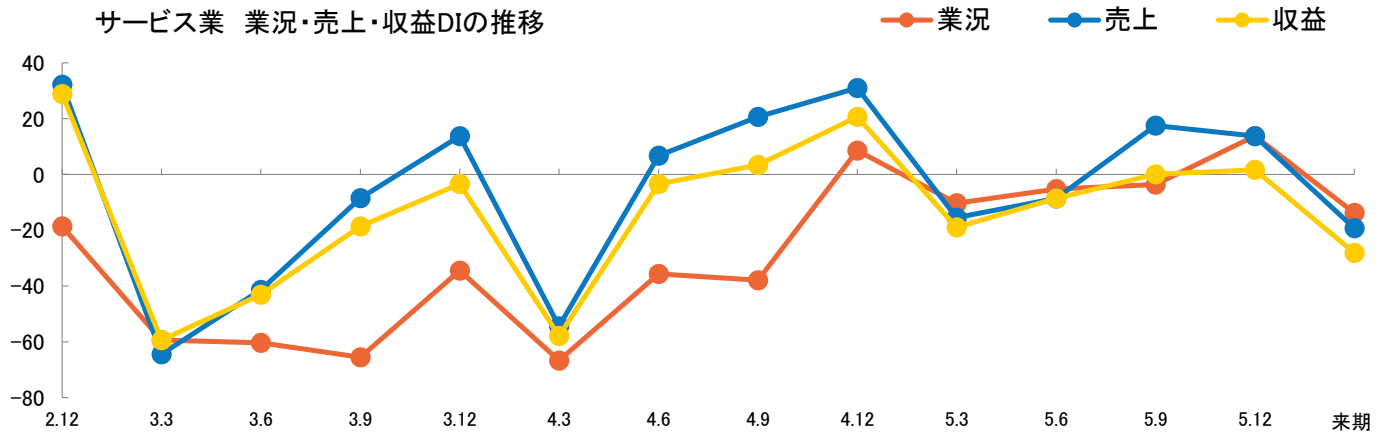
サービス業

景況

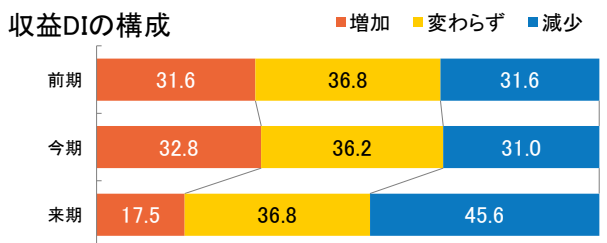
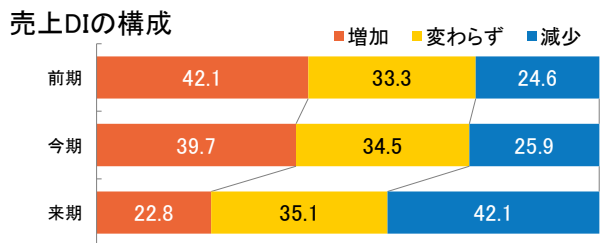
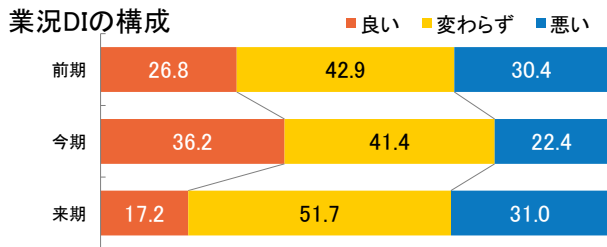
業況DIは大幅に改善、売上DIは悪化、収益DIはやや改善

業況DIは、前期比17.4ポイント改善の13.8となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである5.4を上回り、前年同期DIの8.6も上回りました。来期については、27.6ポイント悪化の▲13.8となる見通しです。

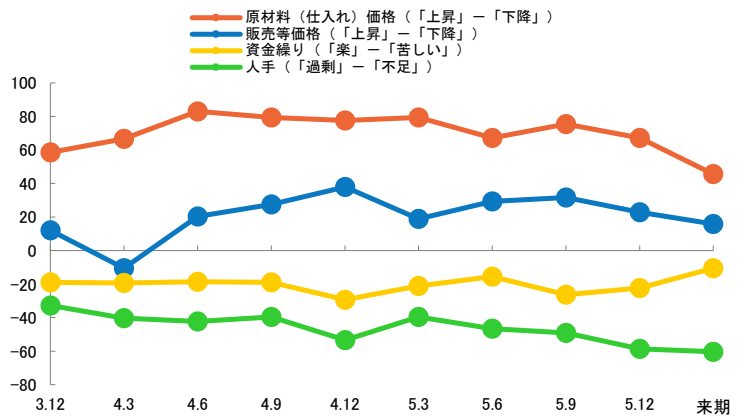
サービス業 業況・売上・収益DIの推移



業況・売上・収益DI

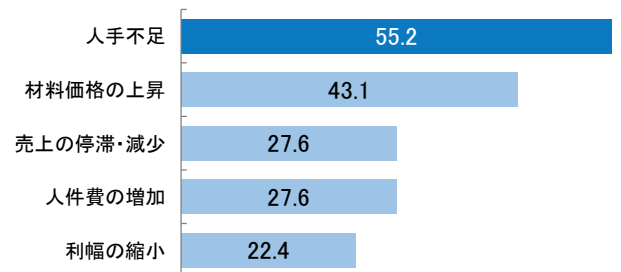


その他の指標推移



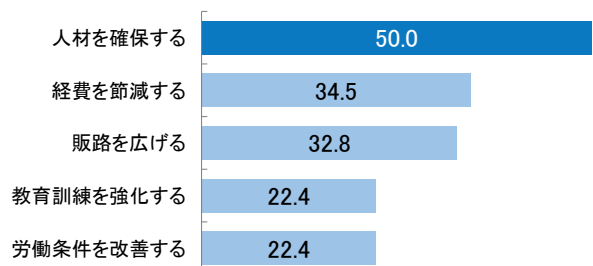
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



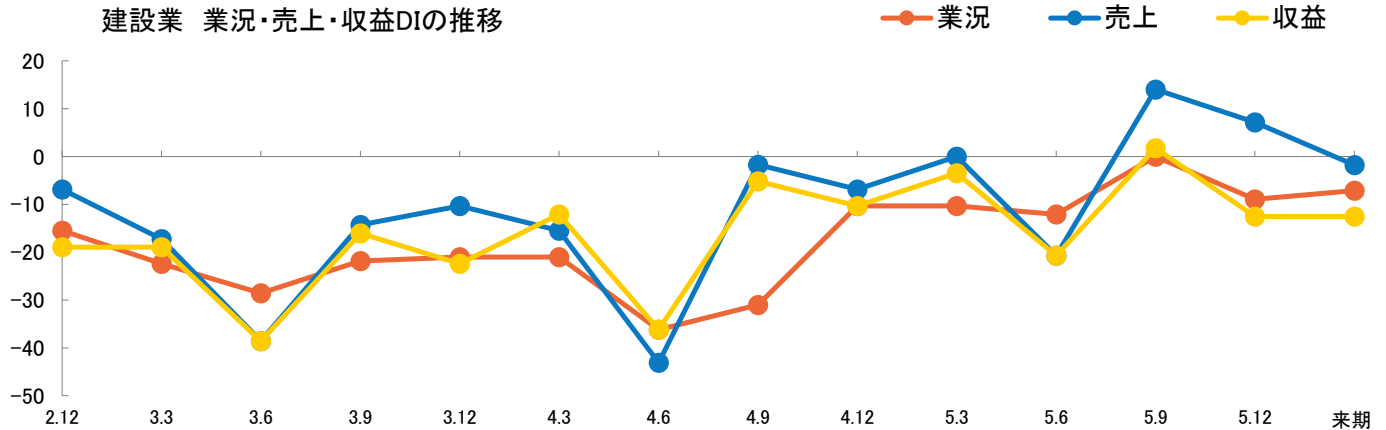
建設業

景況

業況DI・売上DIは悪化、収益DIは大幅に悪化

業況DIは、前期比8.9ポイント悪化の▲8.9となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである7.1を下回りましたが、前年同期DIの▲10.3を上回りました。来期については、1.8ポイント改善の▲7.1となる見通しです。

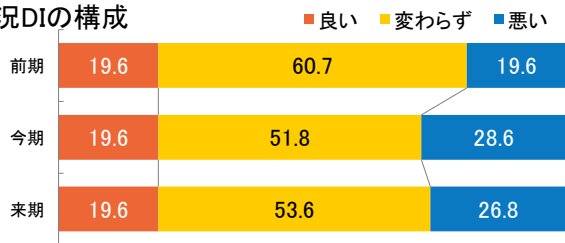
建設業 業況・売上・収益DIの推移



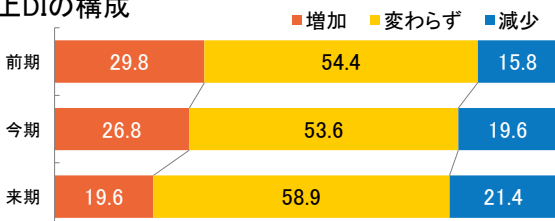
業況・売上・収益DI



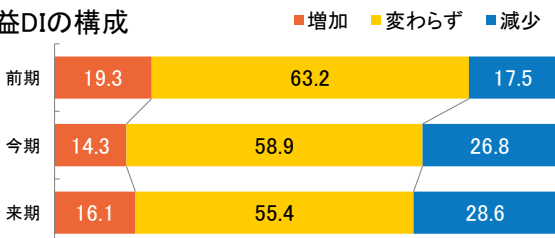
業況DIの構成



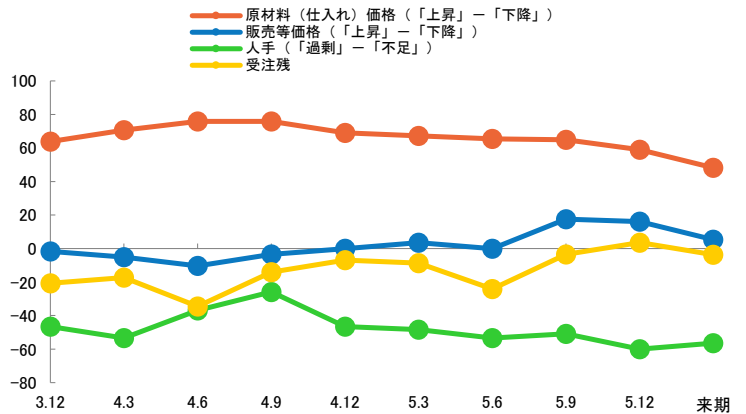
売上DIの構成



収益DIの構成

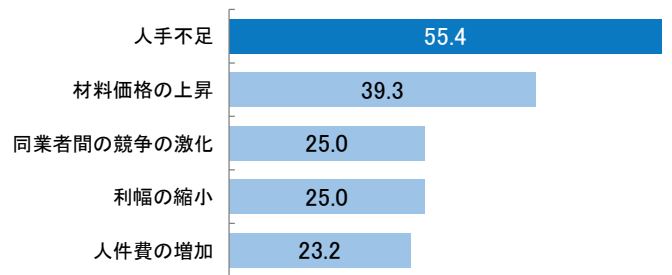


その他の指標推移



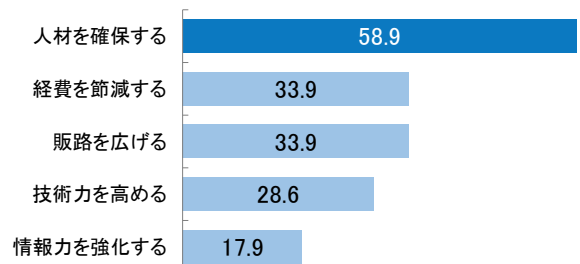
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



好調←



→低調

改善

横這い

悪化



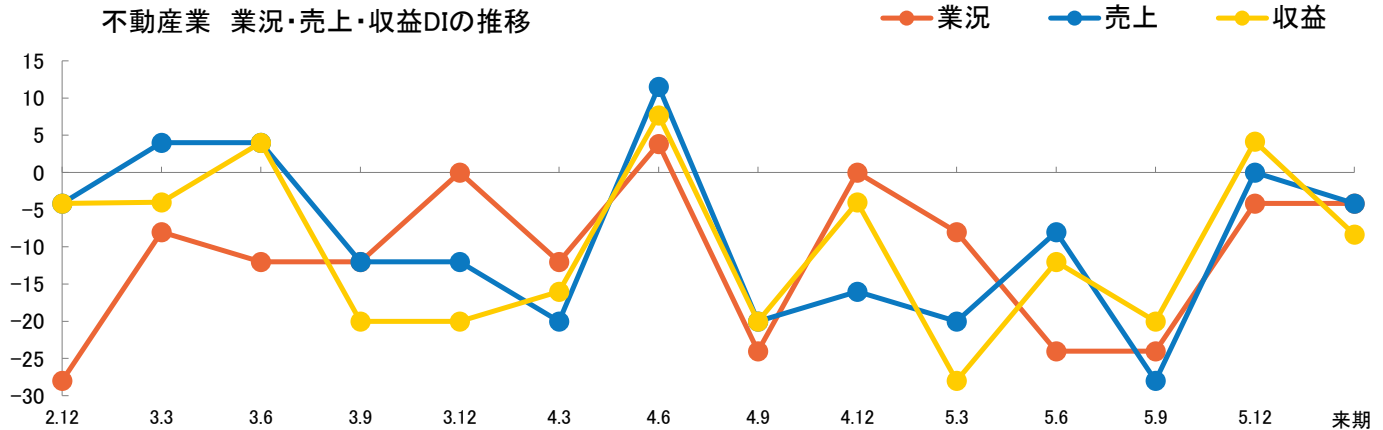
不動産業

景況

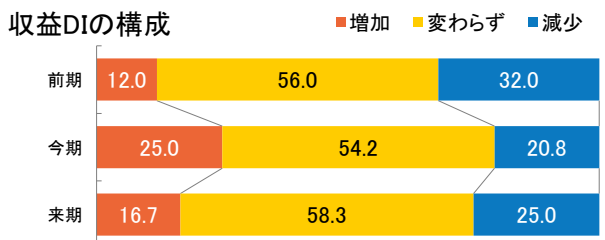
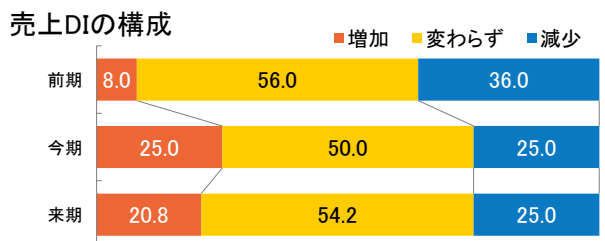
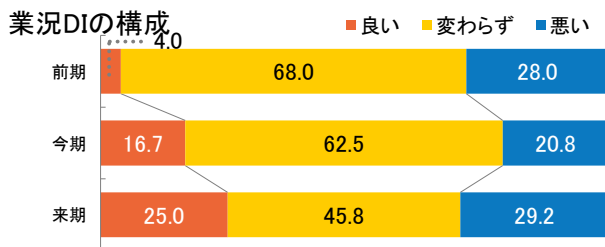
業況DI・売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に改善

業況DIは、前期比19.8ポイント改善の▲4.2となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲24.0を上回りましたが、前年同期DIである0.0を下回りました。来期については、横這いの▲4.2となる見通しです。

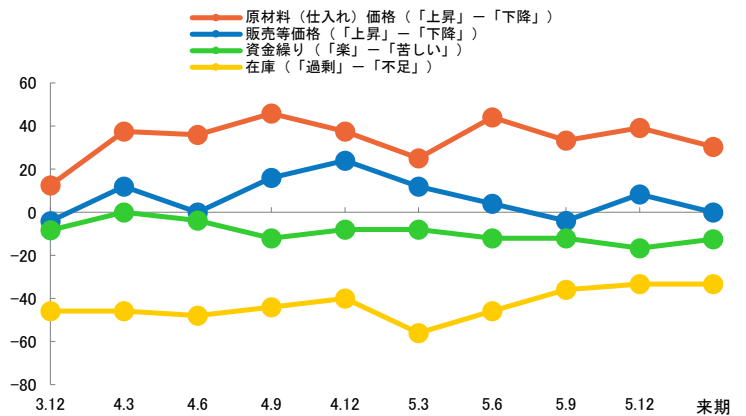
不動産業 業況・売上・収益DIの推移



業況・売上・収益DI

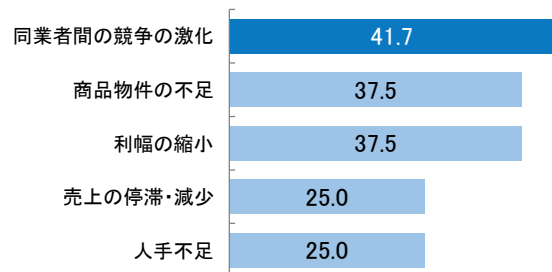


その他の指標推移



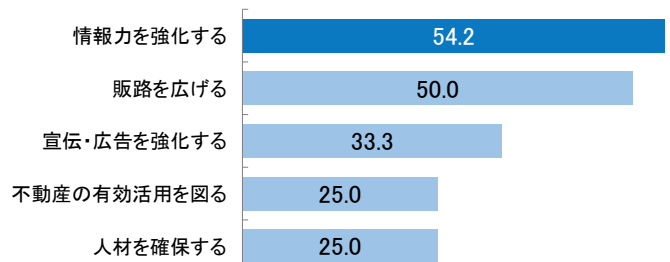
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

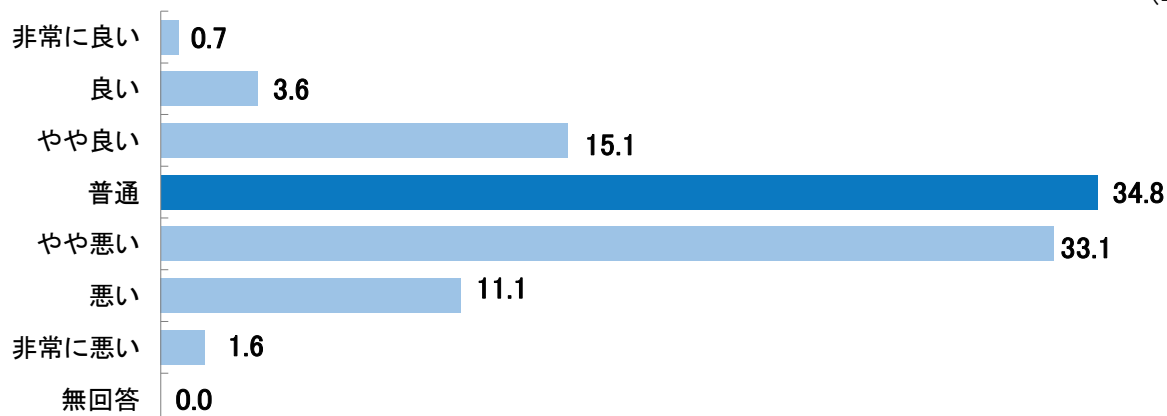
(複数回答、単位：%)



問1

貴社では、2024年の日本の景気をどのように見通していますか。

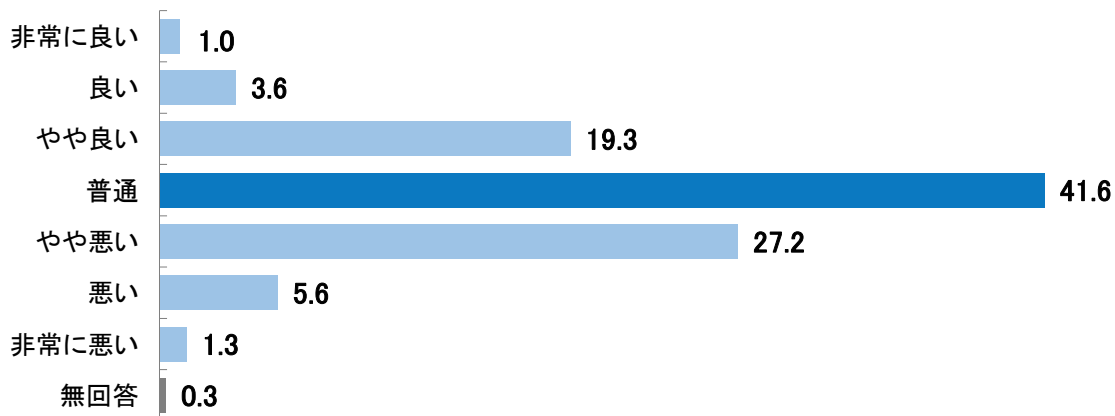
(単位:%)



問2

貴社では、2024年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。

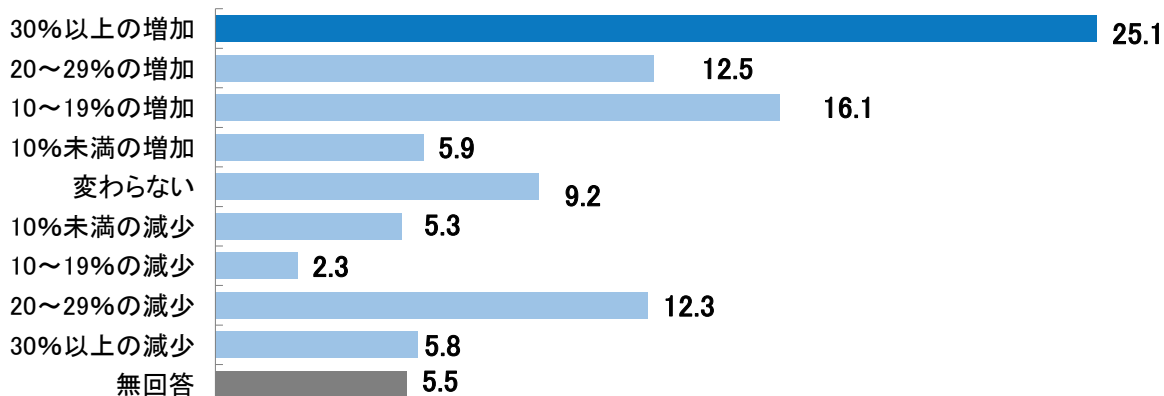
(単位:%)



問3

2024年において貴社の売上額の伸び率は、2023年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。

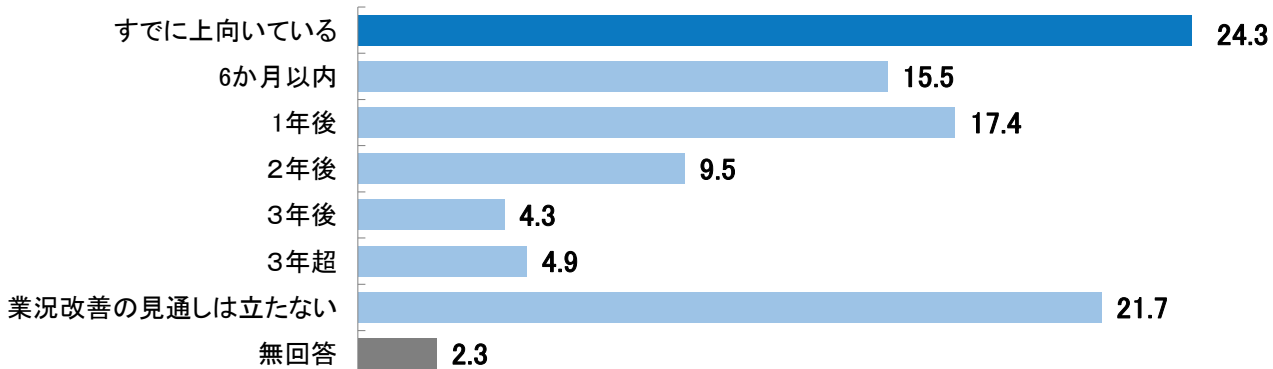
(単位:%)



問4

貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。

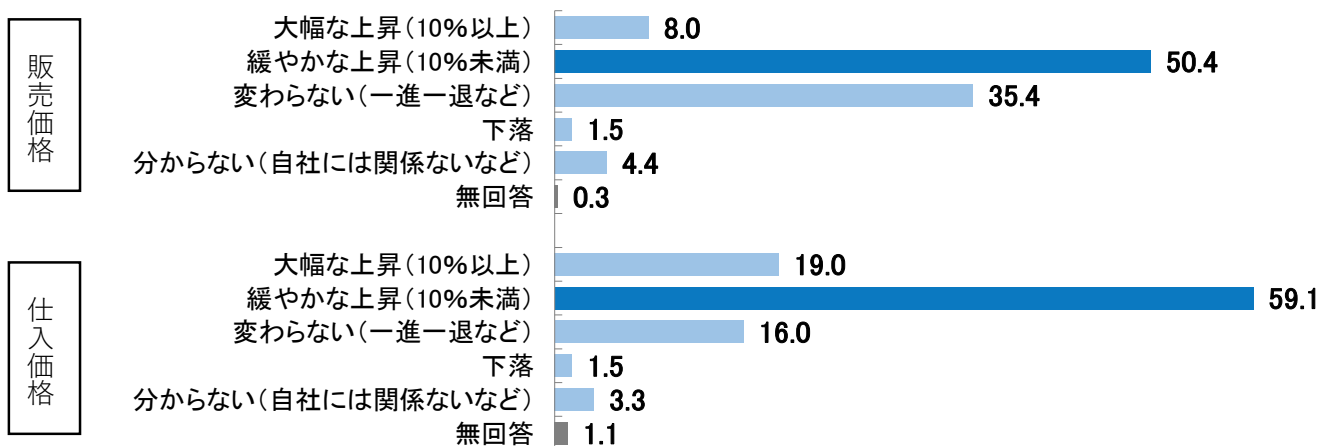
(単位:%)



問5

2024年を展望したとき、貴社では価格面の動向をどのように見通していますか。

(単位:%)



特別調査に関する営業店のコメント

- 事業者との面談では今後も物価高が継続することで段階的な値上げが必要になる場合、どこまで値上げに応じてもらえるかわからないと不安視する話が多い。
- 観光関連事業者では、コロナ禍からの回復が本格化しており、業況はすでに上向いていると思われるが、宿泊業においては補助金を活用した施設改修を実施する事業者もいらっしゃるため、改装工事終了後に業況の回復が本格化するとの声もあった。
- 昨今、経営課題として多くあげられる人材不足や価格高騰の影響については、今後も引き続き対応が求められている状況であると見受けられた。
- 2024年の経営見通しについては明るい見通しを持っていない先も多く、コロナが明けて人流が回復していること自体は経済環境の良化要因と考えられるが、一方でコロナ前とコロナ後の世情の変化および近年の物価高などの悪化要因もあり、先々の不透明感を持っているのではないかと考えている。

あなたのオフィスで
お金のプロになんでも相談&解決!



お金が
貯まらない…

「NISA」「iDeCo」
って何?



安心して
生活できるお金って
一体いくら?

家を買いたい!
いくら借りられる?



さがみ信用金庫の

お金の相談会

お金の心配ごとをプロに相談しませんか?
知っておくと助かる お金の勉強をはじめましょう!

わかりやすく
お伝えします

＼ どんなご相談も歓迎! 最適なアドバイスをご提供! ／



- 将来に向けてお金の運用を始めたい
- ライフプランニング
- マイホームやマイカーを購入したい
- 教育資金について
- ケガや病気など不測の事態に備えたい
- 将来の年金について

お取引店舗または営業担当者までご相談ください

さがみ信用金庫

総合企画部

TEL : 0465-24-3162

E-mail : souki@sagami-shinkin.co.jp

「要約版」およびバックナンバーは当金庫ホームページをご覧ください

さがみ信用金庫 景気動向調査

検索

さがみ信用金庫ホームページ

URL : <https://www.shinkin.co.jp/sagami/about/keikidoukou.shtml>

